

お天気解説

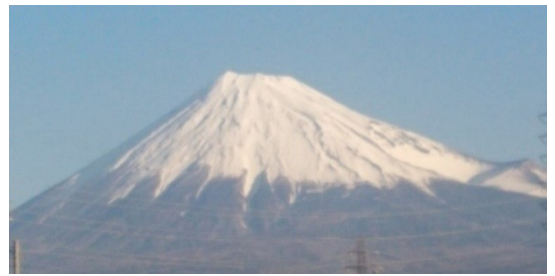
アキラのズバツと

温暖化による影響シリーズ
「温暖化と雪」その4

暖冬と降水量

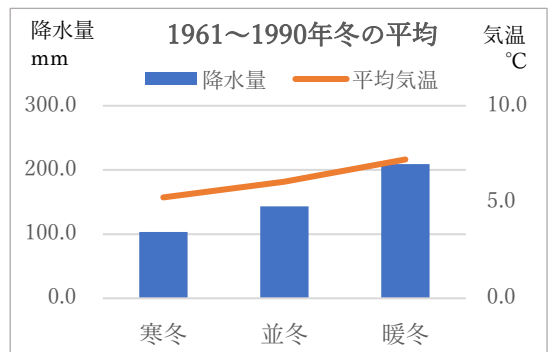
令和5年12月22日
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

クリスマスのイルミネーションが一際輝きを感じます。Silent Night♪雨は夜更け過ぎに雪へと変わりそうな冬らしい天候が戻ってきました。クリスマスの頃にやってくる寒波を「クリスマス寒波」といいますが、週末は、本格的なクリスマス寒波となりそうです。

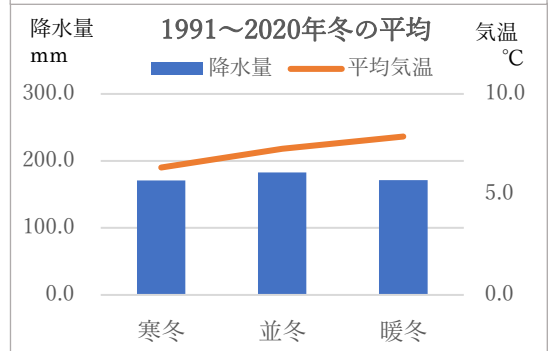


写真：暖冬の富士山

ところで、先週は最高気温が20℃前後にも上がり江戸川臨海では16日に22.4℃と、12月の史上2位の高温記録となりました。暖冬の年は冬型の気圧配置が崩れやすくなり、低気圧が日本付近を通る回数が多くなって雨や雪が関東平野でも降りやすくなります。



富士山では、冬型の気圧配置の時は晴れて低気圧が通る時に雪が降るので、真っ白な富士山は、暖冬の時に現れやすくなります。これは低気圧のたびたびの通過で降水が雪として降り、たくさん積もって真っ白になるからです。一方、寒冬の年は冬型の気圧配置が続き晴れる日が多く、積もった雪も強風に飛ばされ雪渓だけになってしまうことが多くなります。



ただ、この傾向も近年では変わってきています。実際に冬(12～2月)の気温と降水量(平均)で比較すると、昔は暖冬に降水量が多く寒冬は少ないことが分

図：㊤昔(1961～1990年)と㊦近年(1991～2020年) 東京都心の冬の降水量と気温 低位10年を寒冬、高位10年を暖冬とする(気象庁データより作成)

2023年12月22日11時 気象庁 発表			
日付	今日 22日(金)	明日 23日(土)	明後日 24日(日)
東京地方	晴時々曇	晴	晴時々曇
降水確率(%)	-/10/10	0/0/0	20
信頼度	-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	10	11 (9～12)
	最低	-	2 (1～3)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は朝の冷え込みが厳しそうですが、日中は穏やかに晴れそうです。)

かりますが、近年で

は暖冬も寒冬も降水量のちがいはほとんどない感じですが、観測点移転や気候変動の小さな表れかもしれませんが、詳しい調査が必要です。

次回(1月5日)からは、「東京地方の気候変動シリーズ Now & Then」と題し、今と昔の東京の天候のちがいを見たいと思います。

皆さま、よいお年をお迎えください。